

1410 | 造形学概論

2単位（通信授業2単位）

金子伸二教授

授業の概要と目標

造形にかかわる諸学についてその成立事情と問題意識を把握することを通して、造形研究の基本的な視座を獲得することを目的とする。授業では、近・現代日本における造形関連諸学の文献研究を行う。

課題の概要

○通信授業課題1

教科書の読解を踏まえて、美学、芸術学、美術史学等、造形関連諸学の成り立ちについて考える課題。

○通信授業課題2

近・現代日本における造形関連文献の精読を通して、造形と学問との関係について考える課題。

*課題については学習指導書『造形学概論 平成30年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書による。

- 第1章 美術の枠組み
- 第2章 美的経験と感覚
- 第3章 美をめぐる知識
- 第4章 芸術家という個性
- 第5章 純粹なる作品
- 第6章 生活からの離脱
- 第7章 美術と造形

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の該当部分を中心に出題する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3年次

[履修条件] 「デザインリサーチI・II」の単位を修得していること（芸術文化学科各コース3年次編入学生を除く）。

[備考] 芸術文化学科造形研究コース3年次必修科目。
芸術文化学科文化支援コース3年次選択必修科目。

教材等

教科書：金子伸二『造形学概論』（武蔵野美術大学出版局 2004年）

学習指導書：『造形学概論 平成30年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018年）

1420 | 資料情報処理

2 単位（通信授業 1 単位・面接授業 1 単位）

堀越洋一郎講師

授業の概要と目標

美術を広く人々の「鑑賞」に提供することを企画する者にとって、資料情報処理の理論を学ぶことは不可欠である。美術に関する各種データの研究及び表現の基礎として、美術資料及び情報の処理について研究する科目である。

美術・デザイン分野で扱う資料は文字情報のみならず、作品写真等の静止画像や映画、ビデオ等の動画像、音楽等の音声等多様であり、記録メディアも、印刷物から電子メディアまで多種類にわたるが、最近ではインターネット上での情報提供に見られるように、資料の電子化（デジタル化）が情報共有のために重要になってきている。

この科目では、多様な資料の特性、資料の収集から整理／提示手法、特にデータベース化などの電子化に関して学習する。通信授業では、文献資料の収集、書目、書誌、索引等の参考図書やレファレンスツールを理解し、面接授業では、図書や Web を通じた文献・画像資料の検索演習、個人で小規模な書目類のデータベースを制作することを通じて資料の収集、分析、再構築により様々な情報資源について理解することを目標とする。

課題の概要

○通信授業課題

各自が利用できる図書館に行き、各自が決めたテーマ（美術史、デザイン分野など）についての参考図書を調査し、それを基に、レポート作成する。

○面接授業課題

個人で小規模な書目類のデータベースを、市販ソフトウェア（FileMaker Pro.）を使って制作する。収録データについては、手持ちの資料等より各自が選んで収集する。

* 課題については学習指導書『資料情報処理 平成 30 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

美術を鑑賞に供するとはどういうことか。そのために必要なメディアや技術を理解するため、以下の項目を内容とする。制作にあたっては、学習指導書を精読してから取り組むこと。

- ・ 美術・デザイン分野の書目、書誌、索引等参考図書 Web（レファレンスツール）の概要。
- ・ 作品情報（作品写真、履歴、展覧会出品履歴等）、作家情報（氏名、生没年、参考文献、年譜等）の実例（記述項目、表記）を所蔵品目録、展覧会カタログ、カタログレゾネで検証するプロセス等。

[面接授業]

・ 参考図書や Web 上の美術・デザイン分野のデータベースの紹介と検索演習。

・ 個人々のテーマに沿った小規模なデータベースを制作する。

スクーリング前に各自が制作するデータベースのテーマについてメールで提出すること。提出方法はネットフォーラムを参照すること。

成績評価の方法

[通信授業] 課題に関するレポートの調査考察の深度、完成度（レイアウト等）。

[面接授業] 作成したデータベースの完成度。

以上を総合的に評価する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4 年次

[履修条件] 造形研究コース 3 年次必修科目の単位をすべて修得していること（「学生ハンドブック」p.051 の特例を除く）。

[備 考] 芸術文化学科造形研究コース 4 年次必修科目。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：藤田節子『図書館活用術 新訂第 3 版』（日外アソシエーツ 2011 年）

学習指導書：『資料情報処理 平成 30 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018 年）

その他

面接授業では学外見学を予定。

1430 | 媒体組成研究

3 単位（通信授業 2 単位・面接授業 1 単位）

金子伸二教授、前多令子講師

授業の概要と目標

芸術文化とりわけ造形芸術は、材料やその使用技法という物質的な要素を抜きに存在しえない。この授業では、造形芸術におけるこうした物質的要素を、記録や伝達、表現といった機能を個別的な作品として成立させる媒体としてとらえ、その時代的・地域的な特性や、例えば絵画における壁画・タブロー・挿絵等といった媒体の形式と美術館・印刷物・映像等による作品の鑑賞・受容のあり方とのかかわりを把握することをとおして、造形芸術に対するより深い理解を獲得することを目的とする。通信授業では、造形芸術と媒体とのかかわりについて、近代における複製技術の役割を中心に、理論的・歴史的観点から学習する。面接授業では、研究のケーススタディとして、今日まで造形芸術の主要な媒体の一つとなってきた書物について、その素材や構造を伝統的な書物工芸によりながら学習する。

課題の概要

○面接授業課題

書物工芸の歴史についての理解をもとに、西洋と日本の書物における材料・技法の特性と書物の機能について分析する課題。

○通信授業課題 1・2

教科書の読解をとおして得られた理解をもとに、近代の造形芸術における媒体の変化および複製の概念について考察する課題。

* 課題については学習指導書『媒体組成研究 平成 30 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[面接授業]

- ・ 書物工芸の歴史に関する前提講義と博物館等の見学。
- ・ 書物の材料・技法と機能の分析に関する演習（西洋の書物）
- ・ 書物の材料・技法と機能の分析に関する演習（日本の書物）
- ・ 演習の報告と総括

[通信授業]

教科書（とりわけ、芸術作品におけるアウラの複製技術による凋落についての論述）の精読、参考文献等の資料調査およびレポートの作成。

成績評価の方法

[通信授業] レポートによる。

[面接授業] 演習での報告による。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4 年次

[履修条件] 造形研究コース 3 年次必修科目の単位をすべて修得していること（「学生ハンドブック」p.051 の特例を除く）。

[備 考] 芸術文化学科造形研究コース 4 年次必修科目。

「印刷文化論」、「ブックバインディング」の単位を修得しておくことが望ましい。
スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：ヴァルター・ベンヤミン「複製技術の時代における芸術作品」『ボードレール他五篇』所収（岩波書店 1994 年）

学習指導書：『媒体組成研究 平成 30 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018 年）

その他

面接授業では学外見学を予定。

1440

造形学研究

3単位（通信授業3単位）

田村裕教授、金子伸二教授、坂上桂子講師

授業の概要と目標

造形研究の多様な視点を把握し、各自の研究の立脚点を把握する視点を構築することを目的とする。様々な方法論を、歴史的に遡及して探索したうえで、その今日的な意味を検討する。授業では、研究のための基礎資料の収集と分析を行う。

課題の概要

○通信授業課題1～3

特定の主題に関する基本文献の探索と学説を把握する課題。

* 課題については学習指導書『造形学研究 平成30年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書による。

- ・モダニズムを超えるために
- ・ヌードのへそ
- ・通俗造形論
- ・私的マンガ論
- ・ノート
- ・リズム都市・浅草
- ・「紙のうえの都市」フィールドノート
- ・20世紀デザイン運動の意味
- ・「装釘時代」について

成績評価の方法

レポートによる。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4年次

[履修条件] 造形研究コース3年次必修科目の単位をすべて修得していること（「学生ハンドブック」p.051の特例を除く）。

[備考] 芸術文化学科造形研究コース4年次必修科目。

教材等

教科書：『造形学研究』（武蔵野美術大学出版局 2003年）

学習指導書：『造形学研究 平成30年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018年）